

科目名	ベーシックヘアメイクⅠ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	石丸美沙子／柳田凌央
学科・コース	ヘアメイク科　ヘアメイク専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	後期 月曜1限、2限
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
現場でのヘアメイクを想定した基礎のヘアースタイルについての技術と理論を習得する。							
〈講師経歴〉							
海外2店舗、国内2店舗を経験した後帰国。有名アーティストなどのヘアメイクや講師業を15年以上有した経験豊富な講師が担当。海外での美容事情など様々な視点から美容業界の情報を発信していく。							
【授業を通じての到達目標】							
実際に人に施すヘアを想定し、流行りのヘアスタイルを中心とした実技授業にて、基礎技術と知識、ヘアプロダクト（スタイリング剤）の使用方法を習得する							
【使用教科書・教材・参考書】					【授業外における学習】		
ヘア教材一式							
回	授　業　概　要					テスト配点	
1	ブレイドヘアを習得する						
2	ブレイドヘアからのヘアチェンジ						
3	ヘアスタイルチェンジ　【アップstyleからダウンstyle】						
4	夜会巻きアレンジ　一両抱き合わせー						
5	ヘアスタイルチェンジ　【アップstyleからダウンstyle】					小テスト　10点	
6	ヘアスタイルチェンジ　【ダウンstyleからアップstyle】						
7	ヘアスタイルチェンジ　【ダウンstyleからアップstyle】						
8	中間テスト　一玉ねぎツインテールー					中間テスト　20点	
9	フィガーエイト技術を使ったヘアスタイルを完成させる						
10	ヘアスタイルアレンジ						
11	ヘアスタイルアレンジ					小テスト　10点	
12	モデルに合わせたスタイルを完成させる　【相モデル】						
13	モデルに合わせたスタイルを完成させる　【相モデル】						
14	定期テスト練習						
15	定期テスト　一夜会巻きアレンジー					定期テスト60点	
【特記事項】					【評価について】		
					●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点		
					●評価 A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点） E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）		
					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。		

科目名	ベーシックヘアメイクⅠ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	木浪亜未
学科・コース	ヘアメイク科　メイクアップ専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	後期 月曜1限、2限
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
BAとして必要な基本的な化粧品やブランドそれぞれのコンセプトやイメージ、BAとしての所作振る舞いについて理解する 木浪　美容部員19年間で現在も務めている							
【授業を通じての到達目標】							
ブランドの特徴や違いを理解しブランドのイメージに合わせた各々の特性を活かしたメイクアップができるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
プリント				現場リサーチ			
回	授　業　概　要					テスト配点	
1	化粧品業界について　美容部員とは						
2	ブランドの種類						
3	現場リサーチ						
4	現場リサーチ						
5	リサーチの内容シェア						
6	リサーチをメイクにしてい						
7	中間テスト					40点	
8	クリスマスコフレ2025						
9	フレグランスについて						
10	国産のブランドについて						
11	2026春メイク						
12	ブランド別メイク実習						
13	メイク実習						
14	メイク実習						
15	定期テスト					60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●中間試験40点、定期試験60点　計100点満点			
				●評価 A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点） D評価（60～69点） E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）			
				●評価方法			

科目名	現場トレーニングⅡ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	矢崎智／荒木海星／石丸美沙子／ 柳田凌央
学科・コース	ヘアメイク科 ヘアメイク専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	後期 月曜3限、4限
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
自分たちの持つイメージを伝えられるようなスタイリング・表現で、イメージを具現化していくことを体得していく 自分の技術をアピールする力を身につけることができる。							
担当教員は、現在サロンでお客様のカウンセリングから施術を行う美容師や、有名アーティストなどのヘアメイクを担当するヘアメイクがそれぞれの技術・知識を 多角的に提供する。							
【授業を通じての到達目標】							
ヘアメイクアーティスト・ヘアメイクアシスタントに必要な知識・技術を習得する ヘアメイク現場の実践イメージを掴むことができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
授業内容によって異なるため授業内で確認							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	作品フィードバック 10月6日【矢崎先生】						
2	作品フィードバック 10月6日【矢崎先生】					20点	
3	シャンプー＆ブロー演習 10月20日【荒木先生】						
4	シャンプー＆ブロー演習 10月20日【荒木先生】						
5	シャンプー＆ブロー演習 10月27日【荒木先生】						
6	シャンプー＆ブロー演習 10月27日【荒木先生】					20点	
7	ブロー＆スタイリング演習 11月17日【石丸先生、柳田先生】						
8	ブロー＆スタイリング演習 11月17日【石丸先生、柳田先生】						
9	ブロー＆スタイリング演習 12月1日【石丸先生、柳田先生】						
10	ブロー＆スタイリング演習 12月1日【石丸先生、柳田先生】					20点	
11	メンズスタイリング 12月8日【矢崎先生】						
12	メンズスタイリング 12月8日【矢崎先生】						
13	メンズスタイリング 12月15日【矢崎先生】						
14	メンズスタイリング 12月15日【矢崎先生】					20点	
15	ウィッグカラー 1月19日【荒木先生】						
16	ウィッグカラー 1月19日【荒木先生】					20点	
【特記事項】				【評価について】			
				●各科目20点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価 する。			

科目名	現場トレーニングⅡ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	木浪亜未
学科・コース	ヘアメイク科　メイクアップ専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	後期 月曜3限、4限　／　水曜3限、4限
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） 美容部員として実践に接客に活かせるあ振る舞いや相手に伝えるという語彙や所作を学ぶ 木浪　19年美容部員を現在も所属しており、経験をもとに相手に伝えることをテーマに授業を行う							
【授業を通じての到達目標】							
接客時に様々なニーズに対応出来るようになる手法を理解することができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
講師作成資料、メイク道具							
回	授　業　概　要					テスト配点	
1	作品フィードバック　10月6日(月)【矢崎先生】						
2	作品フィードバック　10月6日(月)【矢崎先生】					20点	
3	現場リサーチのシェア　ロープレ　10月20日(月)【木浪先生】						
4	現場リサーチのシェア　ロープレ　10月20日(月)【木浪先生】						
5	現場リサーチのシェア　ロープレ　10月27日(月)【木浪先生】						
6	現場リサーチのシェア　ロープレ　10月27日(月)【木浪先生】						
7	課題提出						
8	中間テスト　11月17日(月)【木浪先生】						
9	中間テスト　11月17日(月)【木浪先生】					20点	
10	お悩み別の接客の違いを理解する　12月3日(水)【木浪先生】						
11	お悩み別の接客の違いを理解する　12月3日(水)【木浪先生】						
12	カウンセリングを基にメイクアップ　12月10日(水)【木浪先生】						
13	カウンセリングを基にメイクアップ　12月10日(水)【木浪先生】						
14	定期テスト　1月21日(月)【木浪先生】						
15	定期テスト　1月21日(月)【木浪先生】					60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間試験20点、定期試験60点　計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	専攻別レッスンⅠ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	内藤麻代
学科・コース	ヘアメイク科　メイクアップ専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 月曜3限、4限
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
美肌検定に合格するための必要な知識を学ぶ 内藤:エステティシャン・エステティック講師として25年以上関わっており、将来美容業に携わる為に美肌の知識を深めるとともに、周りの方にもアドバイスができるようになるよう普段の生活にも参考になるような知識を伝えられる。							
【授業を通じての到達目標】							
美肌検定に合格する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
美肌検定テキスト・筆記用具							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	美肌の条件、美肌度チェック、美肌維持について(P.8～13)						
2	美肌ケアの基本、運動、栄養について(P.16～24)					小テスト4点	
3	皮膚の構造と働きについて(P.26～27)						
4	4つの肌タイプ、表皮のターンオーバー、真皮の構造機能について(P.28～31)					小テスト4点	
5	しわ、たるみについて(P.32～33)、年代別お手入れ方法(P.34～38)						
6	細胞再生修復、睡眠とホルモン、女性ホルモン、お手入れについて(P.40～46)					小テスト4点	
7	中間テスト（筆記テスト）					中間テスト20点	
8	体調と肌、活性酸素とは、活性酸素の要因、紫外線について(P.48～53)						
9	女性ホルモンと肌、温度・湿度と肌、季節にあったお手入れ方法について(P.54～59)						
10	クレンジングと洗顔、美肌を育む、与えるスキンケアについて(P.62～65)					小テスト4点	
11	化粧品の基本の使い方と選び方、化粧品の原料と役割、自分の肌に合う化粧品の見つけ方、薬機法						
12	フェイシャルマッサージの効果、美肌維持に関係する表情筋、セルフマッサージについて					小テスト4点	
13	美肌を作る簡単ストレッチとボディマッサージ、ハンドネイルケアについて						
14	定期試験（美肌検定試験）					定期試験60点	
※	課題（指定課題あり）						
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	専攻レッスンⅠ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	末武佑太／藤崎日葉里
学科・コース	ヘアメイク科　ヘアメイク専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 月曜3限、4限／水曜3限、4限
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） “自分たちの持つイメージを伝えられるようなスタイリング・表現で、イメージを具現化していくことを体得していく 自分の技術をアピールする力を身につけることができる。” 現在サロンでたくさんのお客様のカウンセリングから施術までを行っている現役の美容師が担当する。							
【授業を通じての到達目標】 ヘアメイクアーティスト・ヘアメイクアシスタントに必要な知識・技術を習得する ヘアメイク現場の実践イメージを掴むことができる”							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ヘアメイク教材一式							
回	授　業　概　要					テスト配点	
1	12月3日（水）サンプル選び						
2	12月3日（水）相モデル						
3	12月10日（水）作品作り						
4	12月10日（水）相モデル						
5	12月22日（月）撮影実習Ⅰ						
6	12月22日（月）撮影実習Ⅱ					40点	
7	課題提出						
8	課題提出						
9	1月21日（水）サンプル選び						
10	1月21日（水）相モデル						
11	1月26日（月）雑誌、CM撮影						
12	1月26日（月）相モデル						
13	2月2日（月）撮影実習Ⅲ						
14	2月2日（月）撮影実習Ⅳ					60点	
15	課題提出						
【特記事項】				【評価について】 ●中間テスト40点、定期試験60点　計100点満点 ●評価 A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点） D評価（60～69点） E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格） ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	ヘアメイク総合技術Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	大海いくみ／大瀬順子／石丸美沙子／ 館山みらい
学科・コース	ヘアメイク科 ヘアメイク専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時間	火曜1限、2限
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 実務経験豊富なヘアメイクアーティストから現場でのヘアメイクを想定した基礎のヘアースタイル、メイクを学ぶ。 学んだ基礎をもとに様々な技術を組み合わせたスタイルに挑戦し、イメージに合わせた構成を学び、バリエーション豊かなデザインを表現することができるようになる。 ＜講師経歴＞ 担当教員は、現在サロンでお客様のカウンセリングから施術を行う美容師や、有名アーティストなどのヘアメイクを担当するヘアメイクアーティスト、ビューティアドバイザー兼フリーランスのヘアメイクアーティストがそれぞれの技術・知識を多角的に提供する。							
【授業を通じての到達目標】							
非日常で独創性のあるデザイン、技術力を習得する。(コンテスト2026年2月10日)・							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ヘアメイク道具一式							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	9/30 コンテストについて導入。デザイン、コンセプトシート書き方 ヘア講師2名、メイク講師2名					公欠不可	
2	10/7 コンテスト(メイク)講師2名 【2D3Dメイク】						
3	10/14 コンテスト(ヘア)講師2名						
4	10/21 コンテスト(メイク)講師2名 【柄、マスキングテープメイク】						
5	10/28 コンテスト(ヘア)講師2名						
6	11/4 コンテスト(メイク)講師2名 【グリッターメイク①】					小テスト 10点	
7	11/11 コンテスト(ヘア)講師2名					中間テスト 30点、コンセプトシート提出期限	
8	11/18 コンテスト(ヘア)講師2名						
9	12/2 コンテスト(メイク)講師2名 【グリッターメイク②】						
10	12/9 コンテスト(ヘア)講師2名						
11	12/16 コンテスト(メイク)講師2名 【(仮) カットウィッグに施術】						
12	1/13 コンテスト(ヘア)講師2名						
13	1/20 コンテスト(メイク)講師2名 【70%ウィッグ完成】						
14	1/27 コンテスト(ヘアメイク)ヘア講師2名、メイク講師2名 *ヘアとメイクのバランスを確認					公欠不可	
15	2/3 定期テスト(コンテストデザイン)最終チェック ヘア講師2名、メイク講師2名					定期テスト 60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト10点、中間テスト30点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	ヘアメイク総合技術Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	関 亜沙美
学科・コース	ヘアメイク科 メイクアップ専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	後期 火曜1限、2限
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
関亜沙美:美容室で美容師として2年間勤務後、メイクスクールの講師に従事。メイクアップアーティストやビューティーアドバイザー、サロンメイクなどのメイクアップの教育に30年以上携わり、企業や一般の方向けのパーソナルメイクのインストラクターも行う。現在、他美容学校講師、美容商材会社アカデミー講師、アイブローサロン教育、ヘッドスパ、メイクサロン勤務。メイクアップを生業としていく上で必要な理論、知識、技術、礼節等をお伝え致します。 目的:ビューティーアドバイザーに必要なビジネスマナー、カウンセリングスキルを身につけ、コミュニケーションを図りながらお客様のご要望を聴き出す力を育てつつメイクテクニックも向上させていく。							
【授業を通じての到達目標】							
ビューティーアドバイザーとしてお客様に対する敬語の使い方、ビジネスマナーなどの接遇を学び、メイクオフ～メイクテクニック、カウンセリングスキルを身につけお客様のご要望やご希望を聴き出す力を育て、会話～アドバイス～しながらお客様にメイクを施すようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイク道具一式 筆記用具 iPad 授業専用A4ファイル(20ポケット程度)							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	敬語は『言葉の身だしなみ』覚えておきたい敬語の言い換え					1点	
2	①接客、接遇、カウンセリング、ビジネスマナーとは ②メイクに必須の黄金比・白銀比を学ぶ					1点	
3	スキンケアを学ぶ・1ポイントメイククレンジング～全体クレンジング～乳化～拭き取り～化粧水					1点	
4	スキンケアを学ぶ・2ポイントメイククレ～全体クレ～乳化～拭き取り～化粧水～乳液～マッサージ指圧					1点	
5	フェイスプロポーション・1 大人顔・子供顔 求心的・遠心的 レクチャー					1点	
6	フェイスプロポーション・2 大人顔・子供顔 求心的・遠心的 実技					1点	
7	中間試験 筆記試験・実技試験(課題に沿ってフルメイクを施す)					20点	
8	ベースメイク・チーク徹底演習					2点	
9	アイブロー徹底演習					2点	
10	アイメイク徹底演習					2点	
11	リップ徹底演習					2点	
12	課題・イメージに沿ってメイクコーディネートをしフルメイクを施す・1					2点	
13	課題・イメージに沿ってメイクコーディネートをしフルメイクを施す・2					2点	
14	課題・イメージに沿ってメイクコーディネートをしフルメイクを施す・3					2点	
15	定期試験(課題に沿ってメイクコーディネートをしフルメイクを施す)					60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	ヘアメイク総合技術Ⅱ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	大海いくみ／大瀬順子
		授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	火曜3限、4限
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
〈大海〉外資系化粧品ブランドで4年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、CM、バックステージ(国内・外)、パーソナルメイクサロンとして活動中 〈大瀬〉外資系化粧品ブランドで10年以上メイクアップアーティストとして実務、バックステージMV等のメイクの経験も有する。							
【授業を通じての到達目標】							
メイクの基礎技術だけでなく、応用的な技術、デザイン力、バランス力を身につけられるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回						テスト配点	
1	骨格メイク						
2	年代メイク 30'【つけまつ毛(眉消し無し)】						
3	年代メイク 50's						
4	年代メイク 60's 【つけまつ毛】						
5	年代メイク70's						
6	年代メイク80's【つけまつ毛】						
7	中間テスト 80'sメイク【つけまつ毛】					40点	
8	トレンドメイク						
9	トレンドメイク						
10	ファッションメイク【ストリート】						
11	ファッションメイク【和】						
12	ファッションメイク【モード】						
13	ファッションメイク【ドレス】						
14	定期テスト練習						
15	定期テスト					60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	ベーシックヘアメイクⅡ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	佐々木さをり
学科・コース	ヘアメイク科	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	後期 水曜1限、2限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
BAとして必要な基本的な化粧品や皮膚構造や働きなどについて理解する。 (講師経歴) SHISEIDO、アルビオン、デコルテ、エレガンス、カパーマークなどコスメアドバイザーを多数経験、コスメコンシェルジュ、コスメマイスター、コスメティックアクターなど多数の資格を保有、カラーアナリストアカデミーにて本部講師を担当。現在も店頭でコスメアドバイザーとして活躍中の講師							
【授業を通じての到達目標】							
基本的な肌知識、化粧品知識を修得する。化粧品販売員検定ブロンズを合格する。パーソナルカラーメイクの知識・技術を習得する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
化粧品検定3・2級テキスト							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	自己紹介・化粧品業界の動向とブランド分析：自己紹介・化粧品業界の動向を理解しブランド分析する。デザインシート書き方						
2	化粧品学(基礎)1スキンケアアイテム：基礎化粧品の分類と特徴を理解し習得する。実技：ハイブランドブランドメイク(セルフ)						
3	化粧品学(基礎)2メイクアップアイテム：仕上げ用化粧品の分類と特徴を理解し習得する。実技：ポイントメイク タッチアップ①						
4	接客販売1&タッチアップ①化粧品販売員の役割・心構え・ホスピタリー・身だしなみ・パーソナルスペースなどを理解し習得する。実技：ポイントメイク タッチアップ②						
5	接客販売2&タッチアップ②お客様の分類・接客・売上・販売行動・アプローチ・クローゼットなどを理解し習得する。実技：ポイントメイク タッチアップ③						
6	化粧品販売員検定ブロンズ中間試験対策						
7	化粧品販売員検定ブロンズ中間試験						40点
8	授業目的・色彩学・BYベース：色彩学・ブルーベースとイエローベースの違い						
9	4シーズンカラー スプリングメイク：スプリングカラーを理解・習得、実習						
10	4シーズンカラー サマーメイク：サマーカラーを理解・習得、実習						
11	4シーズン オータムカラー：オータムカラーを理解・習得、実習						
12	4シーズンカラー ウインターカラー：ウインターカラーを理解・習得、実習						
13	ヒューマンカラー診断：パーソナルカラー診断：診断方法と似合わせ						
14	期末試験対策 似合わせパーソナルメイク						
15	期末試験 似合わせパーソナルメイク						60点
【特記事項】				【評価について】 ●中間テスト40点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	デザインイラスト演習Ⅱ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	佐々木さをり
学科・コース	ヘアメイク科	授業形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 水曜3限、4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 多方面で活躍するヘアメイクアーティストから、実際の仕事でも活用することができるフェイスチャート(メイク)とイラスト(ヘア)の描き方を基礎から教わることで、様々なデザインをより明確に第三者に向けて伝えるためのイラスト技術を習得する。 (講師経歴) SHISEIDO、アルビオン、デコルテ、エレガンス、カパーマークなどコスメアドバイザーを多数経験、コスメコンシェルジュ、コスメマイスター、コスメティックアクターなど多数の資格を保有、カラーアナリストアカデミーにて本部講師を担当。現在も店頭でコスメアドバイザーとして活躍中の講師							
【授業を通じての到達目標】							
各授業デモンストレーション時のメモと、スチール撮影、コンテスト時に使用するコンセプトシートの描き方(電子&メイク道具)を習得し、様々な業種、アプローチ方法の選択肢を広げる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
i-pad、シャーペン、消しゴム、アイシャドウパレット、リップパレット、アイブロウペンシル、アイライナーペンシル、リップペンシル、リキッドアイライナー、コットン、綿棒、ティッシュ、メイクブラシャー式、シャープナー							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	①フェイスチャートを描くポイント説明・デモンストレーション(ナチュラルメイク)ファンデーション、アイブロウ、アイシャドウ、アイライナー、リップを使用してフェイスチャートを仕上げる					10点	
2	課題提出						
3	②フェイスチャートを描くポイント説明・デモンストレーション(キュートメイク)ファンデーション、アイブロウ、アイシャドウ、アイライナー、リップを使用してフェイスチャートを仕上げる					10点	
4	課題提出						
5	③フェイスチャートを描くポイント説明・デモンストレーション(クールメイク)ファンデーション、アイブロウ、アイシャドウ、アイライナー、リップを使用してフェイスチャートを仕上げる					20点	
6	課題提出						
7	④期末試験対策 フェイスチャート イメージメイク 定期試験 メイクフェイスチャート(メイク道具)					60点	
8	課題提出						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 課題提出で出席 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	プロフェッショナルへの道Ⅱ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井 リカ
学科・コース	ヘアメイク科 ヘアメイク専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	後期 水曜3限、4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ヘアメイク業界の理解を深め、社会人として必要な教養・マナーを学び、現場実習に活かすことが出来る							
【授業を通じての到達目標】							
美容のプロになるために必要な業界知識や流れを理解し、ヘアメイクの分野に合わせたビジョンを組み立てることが出来る 目指すヘアメイク分野の業界を知り、方向性を見出し、自主的に行動できるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時にteams共有				毎授業時にteams共有			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	10月1日 後期に向けて						
2	10月1日 後期に向けて						
3	10月22日 言葉使い、マナー						
4	10月22日 言葉使い、マナー						
5	10月29日 業界研究						
6	10月29日 業界研究						
7	11月19日 社会人基礎力						
8	11月19日 社会人基礎力						
9	12月17日 テスト					40点	
10	12月17日 就職について、休暇の過ごし方						
11	1月14日 社会人基礎力Ⅱ						
12	1月14日 社会人基礎力Ⅱ						
13	1月28日 コンテスト						
14	1月28日 コンテスト						
15	2月4日 定期テスト(60点満点)新学期に向けて					60点	
【特記事項】				【評価について】			
				● 中間テスト40点、定期試験60点 計100点満点			
				● 評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				● 評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	プロフェッショナルへの道Ⅱ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	菊地 莉奈
学科・コース	ヘアメイク科 メイクアップ専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	後期 水曜3限、4限
【学習の目的】 ビューティーアドバイザーの実務経験がある教員が、就職活動に向けてコミュニケーション能力、自己分析力を身に付け、ビューティーアドバイザーとして必要な社会人養育を行う。 就職活動に必要な情報を学び、就職活動に備える。							
【授業を通じての到達目標】 これから始まる就職活動に備え、しっかりと結果を残す。 プロの職業人になるために必要な業界知識や流れを理解し、自分の目指す将来像を明確にする。 ビジネスマナーの基礎を身に付け、社会人としての意識を持つことができる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
筆記用具・iPad							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	10月1日 後期の授業について						
2	10月1日 今後の就職活動について						
3	10月22日 履歴書記入(基本の書き方) 自己分析						
4	10月22日 自己分析 ブランド・企業研究						
5	10月29日 ブランド・企業研究						
6	10月29日 【中間テスト】 前回調べたブランド・企業についてレポート作成、発表 自己PR					〈中間テスト40点〉	
7	11月19日 自己PR						
8	11月19日 志望動機						
9	12月17日 志望動機						
10	12月17日 〈就活について知っていく〉 雇用形態について 採用の流れについて 面接マナーについて SPI練習実施						
11	1月14日 面接練習						
12	1月14日 面接練習						
13	1月28日 グループ面接 練習						
14	1月28日 〈定期テスト準備〉 グループ面接 練習						
15	2月4日 〈定期テスト〉 模擬面接(グループ面接・SPI)/フィードバック					〈定期テスト60点〉	
【特記事項】				【評価について】 ●中間試験40点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	特殊メイク演習Ⅰ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	高岸裕一
学科・コース	ヘアメイク科	授業形態	演習	総時間(単位)	15(1)	開講区分 曜日・時間	後期 木曜1限、2限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
音段、撮影や収録現場で制作会社や編集からのリクエストをもとに授業内容を構成し、それに沿ったヘアメイクの表現方法の幅を学ぶ。その中でも、特殊メイクに特化した授業を行う。 <講師経歴> フロムハンド卒業後に国内外のブランドのMA、美容サロンの店長後に独立、ヘアメイク事務所の代表、CAA化粧品販売員検定協会の代表理事、クリエイター系会社の代表取締役、コスプレ技術検定協会の理事など兼任、現在も国内外にて活躍中の講師							
【授業を通じての到達目標】							
血のりやパテ等、特殊メイク教材を利用し、特殊メイクを仕上げる事が出来る。世界コスプレ技術検定協会の公式テキストを使用しコスプレメイクを習得。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイク道具一式、新聞紙、サランラップ							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	①特殊メイク メイクアップワックス・ペイントカラー・血のりの使い方、切り傷、あざの作り方を説明しデモンストレーションをする						
2	課題提出						
3	切り傷・あざを相モデルにて実習、習得する					40点	
4	課題提出						
5	②特殊メイク ハロウィンコスプレメイク(仮装)						
6	課題提出						
7	ハロウィンメイク撮影会						
8	課題提出					60点	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●中間テスト40点、定期テスト60点 計100点満点 課題提出で出席 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点)E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	オリエンテーション・導入教育Ⅱ		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	菊地莉奈
学科・コース	ヘアメイク科		授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)								
後期の学習のイメージをつけることができる								
【授業を通じての到達目標】								
年間のスケジュールが理解できる 授業概要が理解できる								
【使用教科書・教材・参考書】						【授業外における学習】		
回	授 業 概 要						テスト配点	
1	スケジュール確認							
2	スケジュール確認							
3	授業概要							
4	授業概要							
5	課題①						40点	
6	教材理解							
7	教材理解							
8	課題②						60点	
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
【特記事項】						【評価について】 【評価方法】●課題①40点 課題②60点 100点満点で評価		

科目名	総合演習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	菊地莉奈
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
社会人として自立するための経済的な知識を学ぶ 担当教員は、ビューティアドバイザーとして店頭でお客様のカウンセリングからその方にあった商品を提案してきた教員が担当する。							
【授業を通じての到達目標】							
自らの収支に対する意識が持てるようになり、就職後の生活をイメージ出来る							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	本講座について導入						
2	事前授業						
3	税金について						
4	社会保険						
5	課題①					40点	
6	ライフプラン						
7	ライフプラン						
8	課題②					60点	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 【評価方法】●課題①40点 課題②60点 100点満点で評価			

科目名	国際教育	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	菊地莉奈
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
海外で活躍するヘアメイクアーティストの実演を通して、ヘアメイク技術、知識の幅を広げる。 他国の技術、知識、文化を学び自身のヘアメイクアーティストとしての幅を広げる。							
【授業を通じての到達目標】							
より広い視野で物事をとらえる国際的感性を学ぶ。他国の技術、知識、文化を学び自身のヘアメイクアーティストとしての幅を広げる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ipad 筆記用具							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	活躍するヘアメイクアーティストの技術を体感し、幅広い美容の技術学ぶ。						
2	活躍するヘアメイクアーティストの技術を体感し、幅広い美容の技術学ぶ。						
3	活躍するヘアメイクアーティストの技術を体感し、幅広い美容の技術学ぶ。						
4	活躍するヘアメイクアーティストの技術を体感し、幅広い美容の技術学ぶ。						
5	日本と海外のヘアメイクの違いについて、調べ学習や発表を通して理解を深める。						
6	ロンドンで活躍するヘアメイクアーティストの技術を見学し、視野を広げる						
7	ロンドンで活躍するヘアメイクアーティストの技術を見学し、視野を広げる						
8	ロンドンで活躍するヘアメイクアーティストの技術を見学し、またLGBTQの知識も学ぶ						
9	おもてなしの知識を学び深める						
10	おもてなしの知識を学び深める						
11	気配り、心配りを学び深める						
12	気配り、心配りを学び深める						
13	海外で活躍するヘアメイクアーティストの技術を体感し、幅広い美容の技術学ぶ。						
14	海外で活躍するヘアメイクアーティストの技術を体感し、幅広い美容の技術学ぶ。						
15	海外で活躍するヘアメイクアーティストの技術を体感し、幅広い美容の技術学ぶ。					定期試験100点	
【特記事項】				【評価について】 ●定期試験100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	業界特別授業Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	菊地莉奈
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
各企業より人事担当者が来校し、業界周辺の状況と顧客ニーズ、トレンド分析を実施する							
【授業を通じての到達目標】							
将来の就職分野の状況を知る							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
講師作成資料							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】オリエンテーション 【到達目標】就職活動について/企業紹介						
2	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
3	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
4	【授業単元】振り返り 【到達目標】業界分析、顧客ニーズ分析、技術分析情報						
5	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
6	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
7	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
8	【授業単元】振り返り 【到達目標】業界分析、顧客ニーズ分析、技術分析情報						
9	【授業単元】オリエンテーション 【到達目標】就職活動について/企業紹介						
10	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
11	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
12	【授業単元】振り返り 【到達目標】業界分析、顧客ニーズ分析、技術分析情報						
13	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
14	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
15	【授業単元】振り返り 【到達目標】業界分析、顧客ニーズ分析、技術分析情報						
【特記事項】				【評価について】			
				●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	業界研究Ⅱ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	菊地莉奈
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	後期 集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
各企業より人事担当者が来校し、業界周辺の状況と顧客ニーズ、トレンド分析を実施する							
【授業を通じての到達目標】							
将来の就職分野の状況を知る							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	ヘアメイクの働き方 事務所						
2	ヘアメイクの働き方 事務所						
3	ヘアメイクの働き方 スチール						
4	ヘアメイクの働き方 スチール						
5	ヘアメイクの働き方 映像系						
6	ヘアメイクの働き方 映像系						
7	課題①					40点	
8	ヘアメイクの働き方 ブライダル						
9	ヘアメイクの働き方 ブライダル						
10	ヘアメイクの働き方 フォトスタジオ						
11	ヘアメイクの働き方 フォトスタジオ						
12	ヘアメイクの働き方 サロン						
13	ヘアメイクの働き方 サロン						
14	ヘアメイクの働き方 サロン						
15	課題②					60点	
【特記事項】				【評価について】 【評価方法】●課題①40点 課題②60点 100点満点で評価			

科目名	コンテスト	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	菊地莉奈
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
1年次の学びを活かし、創造的な作品を発表する							
【授業を通じての到達目標】							
ウィッグを対象に、コンセプトどおりの作品を表現する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	コンセプト作成						
2	コンセプト作成						
3	コンセプトシート作成						
4	コンセプトシート作成						
5	課題①					40点	
6	コンセプトプレゼン						
7	コンセプトプレゼン						
8	課題②					60点	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 【評価方法】●課題①40点 課題②60点 100点満点で評価			